

2018年2月23日

## GKP北海道 下水道フォーラム 報告書



GKP北海道

開催日時：平成30年度2月15日（木） 16:00～17:30

会場：TKP札幌カンファレンスセンター7F（カンファレンスルーム7B）

参加人数：GKP北海道会員37名（うち新規会員2名）

内容

(1)「GKP本部の活動について」（16:10～16:30）

メタウォーター（株）技監 栗原秀人 様（下水道広報プラットフォーム企画運営副委員長）

(2)「GKP北海道の活動について」（16:30～16:50）

（株）顧問 竹内正志 様（GKP北海道 幹事）

(3)「札幌市の広報戦略について」（16:50～17:10）

札幌市 下水道河川局 経営管理部 経営企画課 和田 剛士 様

(1)「GKP本部の活動について」

概要：①下水道が見えているか！（迫りくる危機を直視せよ）

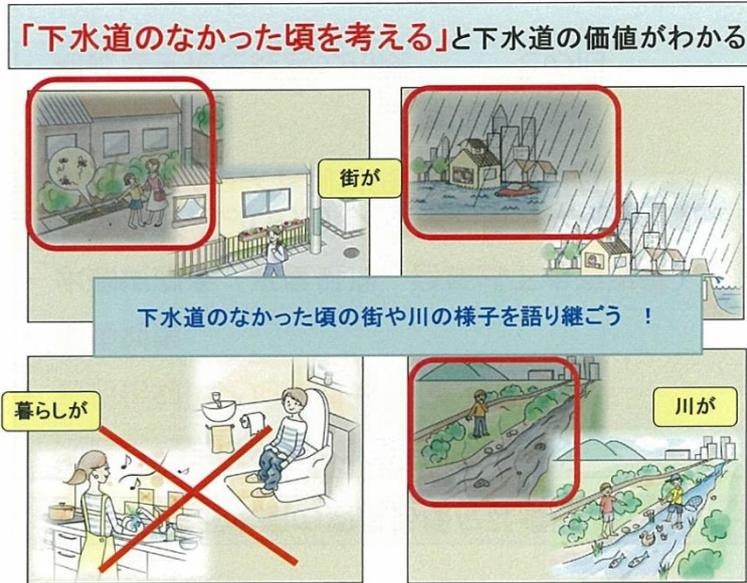
②何故GKPか（広報のChange）～GKPにおける自治体との連携事例の紹介～  
上記の二本立てで説明が行われた。

- ・現在20歳の大人が生まれたときの下水道普及率は8割であることから、若者に下水道の認知度が低いのは事実。
- ・下水道がなかった時代を経験している世代が下水道の価値や未普及時の苦労を若者に伝えていくことが今後の活動で必要。
- ・GKP活動を通じて下水道の存在と価値を国民に周知していくことが必要。

当日の資料の抜粋



- ・下水道があることにより可能となっている現在の生活を認識し、若者世代にも下水道の価値を周知しなければいけない。



- ・その他 GKP 活動の事例が紹介された。

## 東京湾大感謝祭

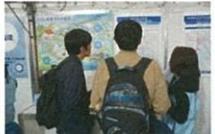
自治体との連携事例①

日 時：平成29年10月21日(土) 来場者450人(台風襲来、1日で打ち切り)。東京湾保全に果たす下水道の役割をステージショー、パネル展示、クイズ等で紹介。平成28年度は来場者1000人。










主催：東京ワンダー下水道実行委員会(GKP事務局)  
 国土交通省下水道部／横浜市／川崎市／東京都／埼玉県／~~株~~NJS／管清工業~~株~~／  
 三機工業~~株~~／JFEエンジニアリング~~株~~／水ing~~株~~／月島機械~~株~~／東亜グラウト工業~~株~~／  
 長島鑄物~~株~~／~~株~~日水コン／~~株~~フノウ／前澤工業~~株~~／~~株~~明電舎／メタウォーター~~株~~／  
 下水道高度処理促進全国協議会／NPO21世紀水倶楽部

## (2) 「GKP 北海道の活動について」

概要：GKP（下水道 広報 プラットフォーム） の設置目的である、①バラバラだった下水道の PR 活動の一つにまとめ、情報交流、連携の母体とすること。②下水道界が一丸となって下水道の魅力を伝えていくことを再確認した。

また、GKP 北海道の行動目標は以下の通り。

下水道の広報活動にかかる情報交流、連携の母体として、道民に下水道の真の価値を伝え、今後の下水道を道民みんな考えていく道内下水道ネットワークの構築を目指す。

その他、これまでの GKP 北海道の主な活動について紹介された。

### 主な活動（1/2）

#### ● イベント

- 下水道事業パネル展（場所 チ・カ・ホ） H27～H29  
企画・運営協力
- 2017 じゅんかん育ちツアー in 十勝 主催

#### ● 総会、研修会（GKP北海道主催）

- 総会 H28,H29
- H29.2/15 GKP北海道主催 研修会

#### ● 北海道の下水道遺産の記録保管・配信

- 下水道遺産パネルの製作
- 文献調査、昔語りインタビュー

### 主な活動（2/2）

#### ● 連携

- 北の下水道場：アドバイザー
- GJリンク
- 下水道未来会：リクルート活動、北大勉強会  
● 北海道大学×水ビジネスの今とこれからを考える H27.6

#### ● 情報発信

- Facebookページ
- 会員メーリングリスト

#### ● その他活動：パネル貸し出し、講師派遣

- 北海道庁 下水道パネル展
- 北海道地方下水道協会  
● 「下水道関係実務者研修」  
● 道央地区「事務担当者研修会」

また、今後の活動予定も紹介され、上記の目標に向けて会員の意識が高まった。

### 今後の展開

#### ● 新たな試み

- マンホールサミット
- 学生向け水ビジネス勉強会
- 各地方でのイベント・ツアー
- 下水道遺産の書籍化、VR化
- じゅんかん育ち野菜の開発アドバイス

※いずれも正式に起案されたものではありません

### (3)「札幌市の広報戦略について」

概要：下水道科学館のリニューアル情報について説明があった。

- ・下水道科学館は現状①展示部の老朽化、②展示物の陳腐化、③来館者数が横ばいである。
- ・リニューアルを行うことにより、会館当初の目的であった「下水道の仕組みや役割を楽しみながら理解してもらおう広報施設」として生まれ変わることが期待されている。
- ・リニューアル後は子どもたちも遊べる空間がさらに充実され、下水道をより知ってもらうことが可能となる。
- ・下水道における広報の必要性も指摘され、下水道はあつて当たり前の存在になっていることから、下水道のプレゼンス（存在感）を向上すべく、平成 29 年度は「若手ワーキングプロジェクトの実施」、「局内リレーメッセージ（GK リレーメッセージ）」、「下水道事業パネル展」等の活動を行った。

その他、リニューアル後のイメージが紹介され、GKP 活動の一環で見学会を行うことはできないかとの意見も出た。

#### 全体イメージ



#### 1階空間イメージ①(エントランススペース)



くらしの中で使用した水を処理している下水道が果たしている役割に気づいてもらう。(2F展示の導入)

#### 1階空間イメージ②(ライブラリスペース)



就学前の子どもたちも楽しめる空間

#### 1階展示内容イメージ①



<豊平川ネイチャースコープ>  
主に豊平川で見ることのできる鳥や魚を見つけるCG体験



<水環境インパクトウォーク>  
足を踏み入れると川の中から魚が飛び出してくる映像体験